

3 オホーツクの森林資源を循環利用するための基本方針と重点分類

1 基本方針

協議会がこれまで進めてきた取組や林業・木材産業を取り巻く状況の変化等を踏まえ、今後、戦略的にオホーツク地域材の利用を促進するためには、森林資源の『循環利用』の視点に立ち、適切に森林資源を管理するとともに、木材・木製品のブランド化を進めることが必要です。

また、地域内外に対しては森林整備の重要性や木材の利用について、木育の観点から普及活動を進め、地域材の利用や森林認証材の普及を図ることが重要となります。

このため、次の4つを基本方針に定め、行動計画を推進します。

基本方針1 適切な森林資源管理の推進

- ア 森林資源の保続 → 造林未済地対策と適切な伐採量・造林量の実現
- イ 林業への新規参入の促進と人材育成 → 若者が林業に新規参入するための取組
- ウ 森林認証の取得 → 森林認証の制度普及と取得要請活動
- エ 流域環境の保全 → 森林保全活動の実施と水土保全機能向上のための取組

基本方針2 地域材の利用促進

- ア 農業分野 → 牛舎等畜舎への利用促進のための普及活動
- イ 建築分野 → 住宅建築及び公共施設での地域材利用促進活動の実施
- ウ 土木分野 → 公共土木事業での地域材の活用
- エ 暮らし分野 → 木工クラフトの利用拡大に向けたイベント等の実施
- オ エネルギー分野 → 林地未利用材の利用促進

基本方針3 森林認証材の普及

- ア マーケティング戦略の構築 → ブランド化の検討と大規模消費地への出荷の拡大
- イ 加工流通体制の整備 → 事業体認証(CoC)の取得促進

基本方針4 木育活動の推進

- ア 木育体験機会の充実 → 指導者の育成・確保と木育関連施設と連携したイベントの実施
→ 教育分野等他産業と連携した森林体験や木工体験の実施
→ 森林体験活動の実施と企業が行う環境活動の取組支援
- イ 都市交流 → 体験ツアーとカーボンオフセットの導入促進

※ ____部は重点的に取り組むもの

2 重点分類

平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 力年では、オホーツク地域の強みとそれぞれの可能性、又は課題に着目し、前記基本方針のなかでも、次の分類に重点的に取り組むこととします。また分類間で連携した取組を推進します。

重点分類 1 基本方針 1 - 分類ア 森林資源の保続

【課 題】造林面積を上回る伐採によるカラマツ人工林資源の減少や造林未済地拡大

【行 動】伐採情報の早期把握・林地流動化等の造林未済地対策や資源シミュレーションに基づく適切な伐採量・造林量の検討

行動内容の詳細は 1 0 ページから 1 3 ページまでを参照

【連携する行動】他産業と連携した森林体験や木工体験等の実施

行動内容の詳細は 3 2 ページから 3 3 ページまでを参照

重点分類 2 基本方針 1 - 分類イ 林業への新規参入の促進と人材育成

【課 題】林業労働者の減少による担い手不足と技術伝承の危機

【行 動】若者の林業への新規参入を促進するためのインターンシップなどを活用した人材育成と情報発信、若者が生きがいを感じる職場づくりの検討

行動内容の詳細は 1 4 ページから 1 5 ページまでを参照

【連携する行動】森林ボランティア団体等と連携した森林環境教育等の実施

行動内容の詳細は 3 2 ページから 3 3 ページまでを参照

重点分類 3 基本方針 2 - 分類ア・イ 地域材の利用促進（農業分野、建築分野（住宅））

【強 み】木造畜舎：過去に建設した畜舎等の実績

住宅：各市町村における地域材利用住宅助成事業の実績

【可能性】木造畜舎：TPP 対策による畜舎の新築・増築の増

住宅：消費者における環境意識の高まり

【行 動】牛舎等畜舎への利用促進のための普及活動、工務店と連携した住宅展示会の開催など普及活動の実施

行動内容の詳細は 1 8 ページから 2 1 ページまでを参照

【連携する行動】重点分類 1 と同じ

重点分類 4 基本方針 2 - 分類オ 地域材の利用促進（エネルギー分野）

【課 題】エネルギー分野：新たな木材需要に対する林地未利用材の利用促進

【行 動】林地未利用材の積極的な搬出方法の検討

行動内容の詳細は 2 6 ページから 2 7 ページまでを参照

【連携する行動】森林ボランティア団体等連携者に対する森林資源状況や地域材の利用の意義などの情報発信。

行動内容の詳細は 3 2 ページから 3 3 ページまでを参照

重点分類5 基本方針3 - 分類ア 森林認証材のマーケティング戦略の構築

【強 み】全国最大規模の認証森林から産出される豊富な認証材原料と集成材や合板、内装材などの製品数

【可能性】公共物件や東京五輪関連施設などへの利用による国産認証材の認知度の向上と住宅やマンション内装などへの利用による普及

【行 動】森林認証材のブランド化の検討と大規模消費地等への製品の生産・出荷の拡大のため、最終消費者につながる中間業者（産業消費者）をターゲットとした売り込みの方向性の検討

行動内容の詳細は28ページから29ページまでを参照

【連携する行動】森林認証環境ツアーやエコツツェリア協会等首都圏の公開講座を活用したCSR活動の呼び込み

行動内容の詳細は34ページから35ページまでを参照

重点分類6 基本方針4 - 分類ア 木育体験機会の充実

【強 み】オホーツク木のプラザなど流域内に11ある木育関連施設、オホーツクみどりネットワーク構成員などのボランティア団体による森林環境教育などの実績

【可能性】森林資源への理解促進と地域材利用の意義の普及

【行 動】他産業分野や森林ボランティア団体等と連携した森林環境教育や森林・木工体験活動の実施、木育施設と連携したイベント等の実施

行動内容の詳細は32ページから33ページまでを参照

【連携する行動】地域材の利用促進、森林資源の保続、林業への新規参入の促進と育成

重点分類7 基本方針4 - 分類イ 都市交流／森林産業・環境体験ツアー

【強 み】豊かな森林資源と全国最大規模の森林認証、流水漂着最南端地域など希少な自然環境

【可能性】企業のCSR活動のフィールド、木材調達方針への反映

【行 動】企業のCSR担当者などを対象とした森林・林業・木材産業などの森林産業・環境体験ツアーの実施、エコツツェリア協会等首都圏の公開講座を活用したCSR活動の呼び込み等

行動内容の詳細は34ページから35ページまでを参照

【連携する行動】森林認証材のブランド化の検討と大規模消費地等への製品の生産・出荷の拡大

行動内容の詳細は28ページから29ページまでを参照